

浦尾社長のコラム

7月に入って、いよいよ夏本番か！と思えば、雨天が続いて、困りますねえ。気温の変化などが、体調を一番崩しやすいそうなので、十分注意してください。後に構えている、暑さ対策も準備を怠らね。

人間ドック・脳ドック、約半数の人たちが受診しましたが、通常の健康診断では見えなかった部分が結構出てきているようです。中には、結構深刻な症状の方もいて、実行してよかったと思います。

浦尾の考え方は、個人個人が安心してもらえるのは勿論ですが、一人でも事前の対応で命が救えれば、安いものだと思います。くれぐれも、再検査を云われた方は、先延ばしにせず受診してください。

「家庭を守る者の、義務」ですよ。

浦尾個人の話を…

「会社を守る者の、義務」として、6年前からPET検査を受け始めました。2年目の55歳の6月に胃がんが見つかって（ステージIVb）、全摘の手術を受けたのは皆さん承知の通りです。

銀行さんとかの関係で、ウソをついていたのは本当の病名でスキルス胃がん（3年生存率、ほぼ「0%」。1年以内にほとんどの患者さんが亡くなっています。）って云う相当たちの悪いやつで、退院の時に医師から「浦尾さんは元気だから、1年は大丈夫だと思いますよ。」って…。「タバコも何でも、好きなことをしてください。」って。

4ヶ月後の10月には、来ましたよ、来ましたよ。「肺と肝臓に、転移してますねえ。」っと。

浦尾は馬鹿ですね。いの一番に頭に浮かんだのは、「城東運輸がまだ中途半端じゃん！」

抗がん剤を続けていたら、とてもじゃないけど仕事が出来ん。「辞めますっ」って言った時に丁度、宮嶋次長から健康食品の「フコイダン」を勧められて、ご飯が食べられだして、



亡き深田会長のお墓の前では、「俺をそっちに連れて行ったら、大成運輸はつぶれますよ！」って脅し、

実家のお墓の前では、「俺をそっちに連れて行ったら、墓参りしてくれる人がおらんよ！」って脅し、

神様の前では、「俺を生かした方が、多くの人を幸せに出来るのになあ。」っと、つぶやいたりしておりました。

と、年明けの検査では、（劇的ビフォーアフターのナレーション風をお願いします）まあ、なんということでしょう、転移した部分が消えているではありませんか！

術後から5年を経過して、今月の1日の検査で、「完治しました。」って云う言葉を、聞きました。

何が救ってくれたのかは、わかりません。全ての歯車が、うまくかみ合ったんだと思います ⇒ が、「運」でしょう。

救ってもらえて出来た時間は、おまけの時間と思っています。自分の事は勿論大切にしますが、出来るだけ社会に還元したいと思っています。私の一番近い社会は、大成運輸と城東運輸ですからね！！

